

浄土真宗版エンディングノート

おも
わたしの想い

伝えたい、如来さまの願い



～はじめに～ 如来さまの願い、私の想い

ご法事・お仏壇・^{ぶつぽう}仏法（阿弥陀如来様の救い）を家族や次世代に受け継いで欲しい、そんな想いを持つあなたの為の書き込み式ノートです。

お参りを通して肌身で感じる事ですが、一軒のお宅の中でご法事・お仏壇・仏法を大切にしてお方がおられても、次世代に継承されないことがしばしばあります。この傾向は、年を追うごとに強まっており、この流れに一石を投じたいという思いでこのノートを作成しました。お仏壇等を大切にされた人が、大切にされたその想いと方法（お給仕のごく基本的な事項など）を伝えていくことで、継承に戸惑う次世代の人たちにスムーズかつ内実を伴った引き継ぎができていくのではと期待します。勿論、継承の方法は多種多様にあるでしょうが、このノートがその一つの方法として役割を担うことができれば、と思っています。

他のいわゆるエンディングノートでは自分史、治療方針、葬儀準備などの紙面が多く割かれています。このノートでもこの内容は踏襲していますが、最大の特徴はご法事・お仏壇・仏法の継承という点に重きを置いている点です。僧侶として、しばしば相談を受ける事がお仏壇についての相談です。お仏壇とは何であるのか、というその大切さが認知されず、継承されないまま、単に処分される事がままあります。お仏壇が無くなれば、手を合わせる日常が無くなることは論を待ちません。同様に、ご法事・お仏壇・仏法の継承や興隆は一体になっていると私は考えています。

現代は生活形態の多様化に伴って家族同士が離れて住むことも多くなり、多忙な^{きつこん}昨今にあっては家族が互いにどんな想いを抱いているかが見えにくくなっています。そして、お互いの想いを知る事ができないまま、いつ終わるとも知れない命を終えていく——それは残念な事ではないでしょうか。このノートが、家族に想いを確実に伝え残す一つの方法になることを期待しています。

このノートが、阿弥陀さまの願いが伝わっていく道筋の一つになることができれば幸甚です。

合掌

浄土真宗本願寺派僧侶 牧野 仁（釈悠水）



～書き方について～



- ・このノートがあることを、周囲の人に伝えておきましょう。
- ・初めから全て埋めようとせず、少しずつ埋められてもよいでしょう。
- ・後で、意見が変わったり、訂正したいときには赤線を引くなりして、訂正した日付などを書いておくとよいでしょう。
- ・保管場所は、日頃、思いついたことをすぐ書けるように身近に置いてもいいと思います。個人情報について集約したノートですので、保管は慎重にしてください。
- ・むずかしい漢字、あるいは人名については「ふりがな」を振っておいた方が、読み違いなどもなく、より丁寧になるでしょう。
- ・たまにパラパラッと見直した方がよいかも知れません。連絡先などの住所変更等の情報更新等をしておくと、信頼性の高いノートになりますし、自分の考えの見直しにもなります。
- ・結婚・出産など人によってはあてはまらないページや項目がありますが、その場合は当該ページ・項目を飛ばしてお書き込みください。

上記のように少し提案を書きましたが、書き方について細かい決まりはありません。どうぞご自由にお使いください。

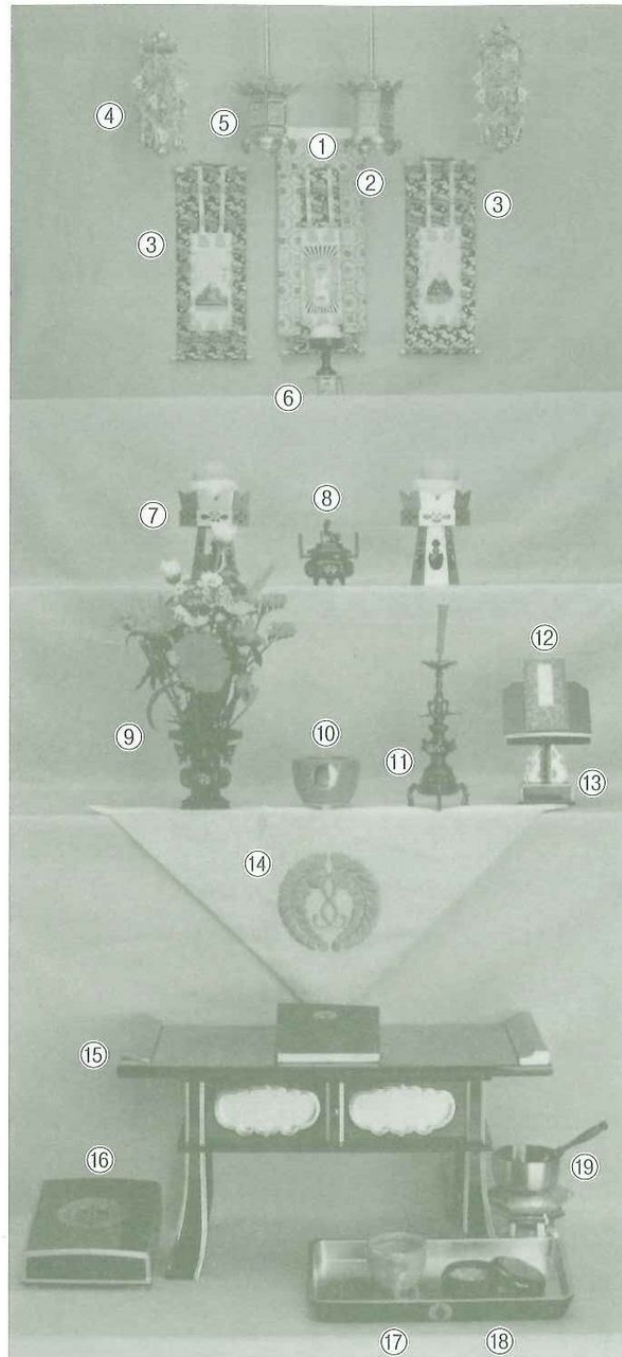


もくじ

わたしの想い

はじめに	1
書き方について	2
お仏壇の基本的なお飾り	4
私の少年・少女期／青年期	6
家系図	7
私の壮年期	12
私の老年期	20
私にとってのお仏壇	24
私にとってのご法事	26
私にとっての <small>ぶつぽう</small> 仏法	28
法話	30
諸手続の情報・連絡先	31

お仏壇の基本的なお飾り



- ①ご本尊②戸帳③脇がけ④瓊瑤⑤金灯籠⑥仏飯器⑦供筒⑧金香炉⑨花立て⑩土香炉
⑪ろうそく立て⑫過去帳⑬過去帳台⑭打敷⑮経卓⑯御文章箱⑰香炉⑱香盒

• 探究社刊「願いを生きる」より

わたしの思い

お気に入りの写真を

署名（書き手）

当冊子に記入の事は、私の遺志に相違ありません。

年 月 日

私の署名

印

わたしの想い

私の少年・少女期／青年期

私

父の名前

母の名前

名前の由来：

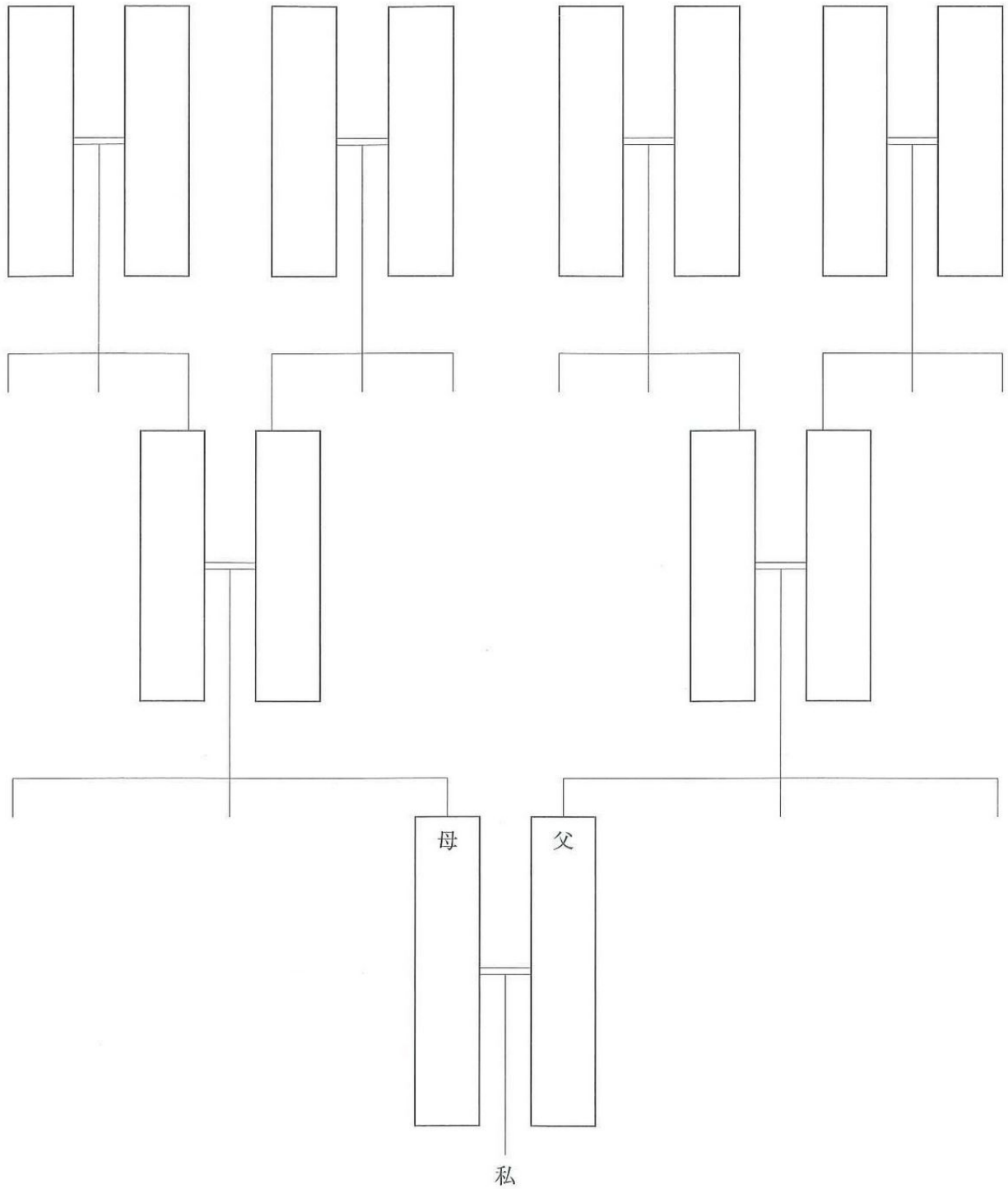
出身地：

こんなところ：

生年月日：

その他：

家系図（命のつながり、仏法のつながり）



少年・少女期（思い出写真）
